

DMM.com、山口県田布施町、プレイネクストラボが連携協定を締結

～デジタルを活用し、更なる地域の発展と住民サービスの向上を目指す～

合同会社DMM.com（本社：東京都港区、会長兼 CEO 亀山敬司、以下 DMM）は地方創生事業（DMM 地方創生）において、山口県 田布施町（町長：東 浩二、以下「田布施町」）とプレイネクストラボ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役：柏 匠、以下「プレイネクストラボ」）と、田布施町のデジタル化を推進することを目的に協定を締結しました。



田布施町は山口県南東部に位置し、瀬戸内海に面している約1万4千人の小さなまちです。岸信介・佐藤栄作両元総理大臣を生んだ兄弟宰相の郷としての田布施町は、春には田布施川沿いに桜が咲く美しい季節になります。

今年3月には、プレイネクストラボが提供する「スマート公共ラボ for GovTechプログラム」を活用し、より多くの住民へ、よりわかりやすく情報を届けるため、多くの方が使い慣れているLINEを町の情報発信手段として導入いたしました。

▼住民向けLINE公式アカウントの開設に関する発表

<https://dmm-corp.com/press/service/3591/>

【協定の目的】

今回の連携協定では、DMMが培ってきた幅広い事業領域のノウハウと、プレイネクストラボがもつ最新テクノロジーの開発力・技術力を活用し連携することにより、田布施町における行政のデジタル化を推進し、更なる地域の発展と住民サービスの向上を図ってまいります。

【協定に基づく連携事項】

- (1) 田布施町LINE公式アカウントを活用した住民サービスの先進活用に関すること。
- (2) 生成AIサービスを活用した業務改革と住民サービスの向上に関すること。
- (3) その他デジタル化の推進に資すること及び住民サービスの向上に関すること。

【合同会社DMM.com 地方創生事業部 事業部長 片山 尊 コメント】

今春田布施町において、防災や暮らしの情報をよりわかりやすく届けるため、LINE公式アカウントを開設・導入いたしました。DMM 地方創生では、DMM.comで培ってきたノウハウやテクノロジーと、事業で取り組んできた経験、またプレイネクストラボ社の強みを活かすことで、田布施町のDXによる地域活性に貢献していきたいと考えております。

【田布施町長 東 浩二 コメント】

今回の連携協定において、最新の取組を行なわれている民間事業者の合同会社DMM.comとプレイネクストラボ株式会社のすばらしい知見を得ることで、今春から開始しました公式LINEの活用や、生成AIの活用、その他行政のデジタル化を進め、住民サービス向上及び業務改革に取り組んでいきたいと考えます。

【プレイネクストラボ株式会社 代表取締役 柏 匠 コメント】

スマート公共ラボは120の自治体で提供するまで広がってきました。そして、ChatGPTを活用したAIコンサルジュや施設予約システムなど様々な行政DX推進ソリューションを提供し始めており、これらのソリューションを通じて田布施町への行政DXの推進に貢献して参りたいと考えております。

【取材のお申込み・お問い合わせ先】

・ 合同会社DMM.com

広報部

TEL：03-5797-8926 / E-MAIL：release-dmm@dmm.com

・ 山口県田布施町

企画財政課

TEL：0820-52-5803 / E-MAIL：kikaku@town.tabuse.yamaguchi.jp

・ プレイネクストラボ株式会社

GovTech事業部

TEL：03-5745-1463 / E-MAIL：info@playnext-lab.co.jp